

2023.3月

銀の汗 Again

A面

2023年特販春夏物展示会



J社の新作業服



A社の新作空調服



T社のストレッチ素材確認
LEON所属、特販：宮崎・高波



新作Yシャツの提案



空調ファンの比較



新作ジョガーパンツの提案



A社のエコの取り組み

2023年2月に、23年春夏物新作の各ワーキングユニフォームメーカーの展示会が開催され。特販チームは朝一番でスタートし、各社(4社)の取り組みを体感してきました。各社共に持ち味と狙っているマーケットの違いコンセプト、開発発想等明確に感じる、電車を乗り継いだ16,000歩の歩みをご案内いたします。

例えば、空調服1つをとっても
ファンの位置を従来の後ろではなく横に付けて、運送業の方々が運転中にファンがシートに密着し改善して欲しいの声に対応した、市場の拡大を狙う商材。
空調服自身の表裏面にチタン素材を吹付、遮熱性能の更なる向上に努めたり。
裏面に保冷剤のポケットを3つ付けたり。脇下から、首へ冷空気が抜ける構造であったり様々な工夫を凝らしていました。
また大切なファンのパワーの源であるリチウム電池のバッテリーを従来品よりパワーアップをしたり・・・
同日に、まわることによって各社のメリットとデメリットを比較することが出来ました。

特販チームとして、何処をPRさせて頂くか、しっかりメリットを訴え、この春からご提案を強化していきたいと考えています。
昨今のトレンドは、スリムタイプとストレッチ。
身体にフィットしたシルエットに、動きやすいストレッチが絶対基本となっています。



鬼瓦権蔵さんが穿いていた、ニッカポッカの令和風が、今流行りのジョガーパンツになっています。発想は同じですが、デザインとストレッチ機能が充実して更なる大ヒットの予感が致します。

特販チームは、大好きな昭和の鬼瓦権蔵さんを慕いつつ時代の最新のトレンドに敏感に反応し、ご提案の強化に取り組んで参ります。乞うご期待下さい。

【復活！商品入荷、受注後1週間内】

墜落制止用器具のフルハーネスと胸ベルトが欠品解消され
JIS規格品1流メーカーの即納体制がなんとか整いました。

法律改正により昨年多くの受注を頂き、一時メーカー欠品中だった
墜落制止用器具、フルハーネス型と胸ベルトの商品が、一部を除き
安定供給が可能となりました。

ご用命は：特販チームまで TEL:03-5860-9982



フルハーネス



胸ベルト

2023.3月

B面

銀の汗 Again

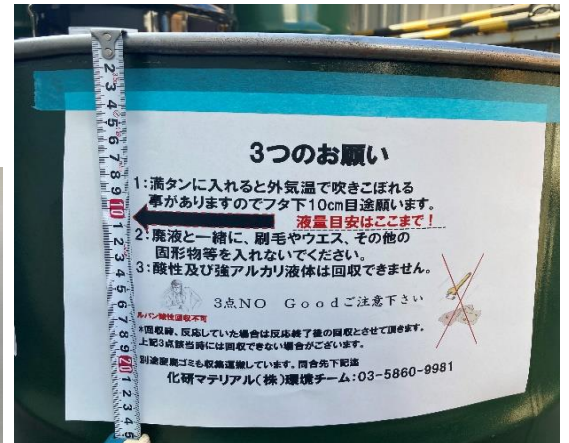
新・改善3つのお願い



【ビフォー】 従来品貼紙



【アフター】 新 改善貼紙



バッチリ10センチ

廃液処理は好調に推移中ですが、廃液処理を行うにあたり「3つの注意事項」の貼紙を設置に伺った産廃ドライバーがドラム缶に貼り付けています。そしてこの度ドライバーのアイデアで貼紙テープで貼り付けた時に丁度蓋下10センチあたり目印になるように ①貼紙の7センチ上に目安の⇒マークを付けました。②又、産廃ゴミもやっていますと、環境チームの電話番号も明記しました。小さなことからコツコツと、思いついたら即改善です。

ホースの上げ下げ



14階建てマンション



2名体制でホース降ろし



通路及び安全ネットの邪魔にならないように木にロープを付けてウインチ上げ下げ



UNマシン設置場所から10m先の頭上にウインチがあり、その幅には建物側に植栽(幅2m)と、そして住民の通路(幅3m)があります。屋上からウインチを下げ、UNマシンホース先端部を取り付け40m上の屋上まで引き上げますが、ホースとウインチの幅が5m以上あり2名でホースを道路側に引きながらゆっくりと上げていきます。下げる時も反対にゆっくり下げていきますが先端部をウインチから話した時に、ウインチ先端部が安全ネットに勢いよく当たり破損しない様に、又、通行人の安全第一にロープを活用し、先端をロープで結び、ゆっくりと上げていきます。現場では様々な工夫しながら、ノウハウを持って施工を進めています。

UNマシン.COMサイトが起ちあがりまして
ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)

銀の汗バックナンバーも掲載

UNマシンにて検索

【sweat of silver】

キネマ旬報シアターで没後45周年、「いま私たちはにはチャップリンが必要だ」と銘打ち、チャールズ・チャップリン映画祭が開催され今から90年前に上映された「街の灯」を、満員御礼の映画館で観ました。

盲目の花売り娘に恋をした放浪者チャーリーは、彼女を助けるために懸命に働き、やがて彼女はチャーリーから貰ったお金で手術をして目が見えるようになりました、ある日ぼろぼろの放浪者に会います…。残酷なまでに美しい愛。ラストの3分間で、場内のすすり泣きが止みません。白黒の画面に音楽と時折「その日の午後」などの文字が映る、90年前の映画ですが、まったく古さは感じなく見ていて楽しい最高のエンターテインメントです。パーティーや賭けボクシングの場面は笑い転げ、良質のコントを見ているようで、昔のドリフターズなどがお手本にしたといわれる、喜劇王チャップリンの映画には涙と笑いのエッセンスが凝縮されています。

小学生の頃、ハンガリー協奏曲に合わせてチャップリンを真似てちよび髭を付け、床屋で髪を切る仕草をする、子がいました当時の私は、映画を見たことがなくて意味不明でした。(今どうしているのでしょうか…)

その日の帰宅後、20代の息子に絶対観た方がいいとチャップリンを勧めました。古典と言われる本も映画も落語も、今読んでも、観ても、聴いても、色あせず新たな感動があります。それは人間の本質が、変わらない生き物だからだと思います。

喜怒哀楽の感情は、人間であるなら立場が違うだけで、世界中おなじです。

ビジネスにおいても立ち位置が重要であるのは間違いありませんが、その奥の人間への、思いやりや優しさは忘れずにこの黄金狂時代を、独裁者にならずに、ライムライトに生きていきたい。